

I. 事業報告

(1) 事業の概要

① 当期における助成事業等の実施状況は第1表及び第2表に示すとおりであります。

今年度は、研究助成154件（前年度150件）、国際交流助成6件（前年度7件）の助成を実施いたしました。

研究調査助成につきましては策定された事業計画通りの内容であり、本財団の目的とする先端材料研究助成の責務を果たすことができました。一方 国際交流等助成においては、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的感染の拡大に伴い、研究者の派遣、招聘が出来ない状況がありました。なお、2名の研究者の派遣に関しましてはオンライン開催での国際会議への出席が実施され、所属機関の規程に基づき、オンライン開催の費用を助成しております。

② 2022年度助成対象者の募集及びその決定

2021年10月1日より同年11月30日までの間に助成申請書の受付を行い、選考委員会の選考を経て、第39回理事会において助成対象者を決定致しました。

なお、第3表に応募受付件数と助成決定件数及び助成決定総額を示します。

第1表 本年度助成事業予算額と助成金交付額 (単位：円)

	助成事業区分	助成事業予算額	助成金交付額	交付件数	備考
1	研究調査助成	200,000,000	202,863,084	154	
2	国際交流等助成	6,000,000	184,737	2	

なお、応募受付件数は次の通りであります。

研究調査助成 508件

国際交流等助成 6件

第2表 本年度普及啓発事業予算額と実施額

(単位:円)

事業名	事業予算額	事業実施額	件数	備考
普及啓発事業	0	0	0	

第3表 2022年度応募件数と助成決定件数

(2022年3月末日現在)

		応募受付件数	助成決定件数	助成決定額	備考
1	研究調査助成	460	233	30,487万円	
2	国際交流等助成	8	8	400万円	

(2) 収 支

① 収 入

- 1) 当期収入予算額 228,407,126円 に対して、決算額は 262,257,973円 となりました。
- 2) 基本財産配当収入としては
株式配当金 234,000,000 円（1株につき、期末配当8円及び中間配当10円計 18円）を受け取りました。
- 3) 基本財産受取利息収入としては
受取利息 23,738,373 円（社債1件、劣後債3件、外国証券5件、普通預金および定期預金）を受け取りました。
- 4) 特定資産利息収入としては
受取利息 1,896,189 円（外国証券1件、および普通預金）を受け取りました。

② 支出

当期支出は、予算額 247,275,816円 に対して、決算額は 235,691,229円となりました。研究調査助成費・国際交流等助成費等の主要事業費については、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の懸念により、2021年度の助成金贈呈式の式典を中止しました。

研究調査助成費は、ほぼ計画通り実施しております。国際交流等助成費については、2名の研究者の派遣に関しオンライン開催での国際会議への出席が実施されたため、所属機関の規程に基づき、オンライン開催の費用を助成しております。

また、2020年度の特別処置として助成期間を1年間延長した3名の研究者のうち1名がオンライン開催での国際会議への出席が実施されたため未払費用よりオンライン開催の費用を助成しております。他2名の研究者については開催の見込みが立たないため、助成期間を終了しております。

管理費の支出については、特に変更ありません。

以 上